鹿児島県立鶴丸高等学校広報紙

好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴信

第１５３号　R3.3.1

鹿児島県立鶴丸高等学校
〒890-8502　鹿児島市薬師二丁目１番１号
TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

「変わる勇気」

三学年主任　江口　智

希望を胸に少々緊張した面持ちで72回生が入学してきた平成30年４月の入学式から、あっという間に「かへらざる三年」が経過しました。元号も平成から令和に変わり、新たな時代の第一歩を踏み出しました。あの有名な新元号の発表のシーンを、私は山岳部の部員とともに山頂で見たことを今でも思い出します。

当たり前のことが当たり前でなくなった昨年度末、新型コロナウィルス感染症対策により、今までの日常生活が大きく変化しました。学校生活においても、この影響で学校の臨時休校や部活動生の最後を締めくくる県大会およびインターハイの中止、そして一日遠足や甲鶴戦などの大きな学校行事が相次いで中止となりました。世間では、鹿児島国体やオリンピックまでもが延期となり、私も半世紀近く生きていて、その約半分を教員として過ごしてきましたが、ここまで日常が大きく変化し、社会生活や学校生活に支障が出たのは初めての経験でした。このため、多くのことで不便に感じたり、実施できなかったりすることに対する悔しさが残っています。しかし、新しい生活様式が提示され、一人一人が意識することで、そのルールの中での生活が定着してくると、多少不便ではありますが、日常生活の中でもできることが増えてきました。学校行事においても、７月に日程を変更して実施されたクラスマッチ、今まで出すことのできなかった有り余る力を全て出し切り、三年生が圧倒的勝利を収めた９月の体育祭、会場を鹿児島アリーナに変更し、工夫を凝らし充実した内容のステージ発表が行われた10月の文化祭と三激会、それ以降の部活動の練習や大会などが、十分な対策の上で実施できるようになりました。最近では、国内でも医療従事者へのワクチンの接種が開始されるなど、少しずつではありますが改善のための手立てが始まってきています。「その不便さに対し、何をすればよいのか、何ができるのか」を考え改善していく良い機会になったのではないかと感じています。現時点ではいつになるかは分かりませんが、近い将来、これらの手立てが功を奏し、今まで通りの我慢する必要のない普通の生活ができるようになった時に、「元の生活に戻る」のではなく、新しい生活様式のもとで「より良い生活」ができるように、今は日々工夫しながら生活できるようにしていきたいと考えています。

少し前に読んだ本の中に河合雅司さんの書かれた「未来の年表」というものがあります。日本の人口の減少に伴い、今後の日本で起こりうる事象を示したものです。さすがに新型コロナウィルスの流行は予想されていませんでしたが、今後10年以内に国民の三分の一が65歳以上になったり、献血の不足により手術や治療に影響が出たり、ＩＴ技術者が不足し、社会基盤に混乱をきたすなど、あまり意識していなかったことが現実になりつつあることを改めて認識させられる内容でした。これらは、今回の感染症のように突然やってくるものではありませんが、近い将来に必ず起こりうる事象です。避けて通ることはできません。だからこそ、これからの大きな変化を伴う社会を生き抜くのに必要なのは、その変化にただ耐えることではなく、変化する環境の中で自分を対応させる能力を身に付けることであると思います。それこそが「生きる力」なのではないかと私は考えています。

多くの友と共に過ごしたこの学び舎を卒業し、新たな世界に旅立つ72回生の皆さん、目途の立たない将来に不安を感じることもあるかと思いますが、変化することを恐れず、挑戦することを忘れずに邁進して下さい。今後の更なる活躍を期待しています。

３月の行事予定

月	日	曜日	行事	校時	時間割変更等	学食
3	1	月	卒業式会場設営 3年生は13:30以降登校		火曜授業	〇
3	2	火	第72回卒業式		1・2年 自宅学習	x
3	3	水				〇
3	4	木				〇
3	5	金	入学学力検査場設営	午後 45分授業	7限後 清掃	〇
3	6	土	検査場立入禁止			x
3	7	日	検査場立入禁止			x
3	8	月	生徒自宅学習 国公立大学中期日程試験(3/8~)			x
3	9	火	入学学力検査　生徒自宅学習			x
3	10	水	入学学力検査　生徒自宅学習 学校安全の日			x
3	11	木	生徒自宅学習			x
3	12	金	生徒自宅学習 国公立大学後期日程試験(3/12~)			x
3	13	土				x
3	14	日				x
3	15	月	生徒自宅学習			x
3	16	火	生徒自宅学習			x
3	17	水	合格者発表			〇
3	18	木	合格者集合 SC来校（児玉先生）			〇
3	19	金			7限 カット	〇
3	20	土	春分の日			x
3	21	日				x
3	22	月		40分 授業		〇
3	23	火				〇
3	24	水	合格体験を聞く会			〇
3	25	木	終業式　大掃除　復習考査時間割発表 捨て重来を期す会			x
3	26	金				x
3	27	土				x
3	28	日				x
3	29	月	離任式			x
3	30	火				x
3	31	水				x

※発行時の予定です。
　変更に注意してください。

探究学習も大詰め

１・２学年ともに全体発表会開催

総合的な探究の時間で進めてきた「探究学習」も一年間の研究の成果を発表する時期になってきました。それぞれの生徒がテーマを設定し、仮説を立てて研究を進めてきました。研究内容は、それぞれで各学年の計画に沿って研究を深めてきました。それぞれの学年の発表の手順は以下の通りです。

【１学年】
①11月25日
　クラス内中間発表
②１月20日、27日
　クラス内最終発表
③２月３日
　クラス内代表発表
④２月８日
　クラス代表による全体発表

【２学年】
①１月27日
　クラス内グループ発表
②２月８日
　クラス内でのグループ代表発表
③３月３日
　クラス代表による全体発表

※各学年の代表者と研究テーマは以下の通りです。

	氏名	研究テーマ
11R代表者	岡元　和奏	地域の安全面で最適な避難所の設置場所
	久木田　紫絵留	香りが学習に及ぼす効果
	三反田　陽	鹿児島県小中校の土曜授業の是非
12R代表者	北山　夏羽	生活習慣と視力低下の関係性 ～視力低下を予防・抑制するにはどうすればよいのだろうか～
	宮本　翼	人の支えと逆さまの研究 ～私が補助倒立をするために～
	瀬戸口　友梨	マスクの色による印象の変化
13R代表者	佐々木　優哉	震災を経験していない若者の防災意識 ～今の現状を知り震災を経験していない防災意識をアップさせるには～
	福嶋　優莉	変性性脊髄症から見える遺伝子検査の重要性
	中村　和奏	授業中の睡魔に負けない生活習慣
14R代表者	二反田　愛	保湿について
	富岡 真凜	現代における医療・社会保障サービス
	安藤　綜悟	信長が天寿を全うしていたら日本史はどうなっていたか

	氏名	研究テーマ
21R代表者	八幡　昇伍	DIVERSITY-JAPANへ　～外国人参政権～
22R代表者	満留　彩有	ジェンダー平等ってなに？
23R代表者	堀口　琴菜	進む学びのオンライン化
24R代表者	金　赫斌	検非違使　忠明のこと
25R代表者	橋口　依菜	心彩心理学　～色が勉強に与える効果～
26R代表者	福永　晃誠	授業中の眠気を覚ますには？
27R代表者	川畑　岳生	自分の体をコントロールする薬～体を理想に近づける薬～
28R代表者	山野　銀志	ベーシックインカムの課題と可能性

【２学年　探究学習担当・西元先生の話】
生徒は，いろいろなテーマに興味・関心をもっており感心しました。目の付け所が素晴らしいものも多いので，更に研究を深めていくと，面白いものになるのではないかと思います。今後も様々なことにアンテナを張って過ごしてほしいと思います。

↑グループ内での発表の様子（1年）

↑クラス代表による他クラスでの全体発表会（1年）

	氏名	研究テーマ
15R代表者	田部　快太	自分の人生，お金はどう使うべき？
	新倉　真以	茶道から見る鹿児島の観光
	下野　亜実	日本の犬猫殺処分数をゼロにするには
16R代表者	濱元美花	幸せに生きるには？　～鶴丸生の現状～
	田野優月	音楽と人　～音楽が人々に及ぼす影響とは～
	東　晴佳	鹿児島県内の医療格差とその是正について
17R代表者	菅　慶太郎	今必要な空間を追求する
	千代丸　佳依	トレーディングカードゲームのブルジョワ化について
	西川　咲那	不安障害について
18R代表者	宇土　大智	死刑制度は不必要か？
	中村　美月	効果的な眠気の対処法は何か
	和田　柊哉	屋久島の水

お知らせ

積雪の日も大活躍しました。ぜひ，欠席・遅刻等の連絡には下のURL（QRコード）をご利用ください。本校HPにも紹介してあります。

欠席・遅刻届け出
システムURL

校内弁論大会開催される

今年度も１月25日（月）の学年審査により選出された１・２年の代表６名よる校内弁論大会が、２月10日（水）に実施されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から校内放送による実施となりました。例年と違う形でしたが、教室で聞いている生徒も顔やしぐさが分からない分、集中して聞いているようでした。審査の結果は以下の通りです。

↑発表前の様子

↑放送室で発表する最優秀賞の奥ノ薗さん

最優秀賞
17R　奥ノ薗　愛美
「貴重な経験をとおして」
優秀賞
27R　小川　まりあ
「しがらみを取り払った先に」
優秀賞
11R　藤内　理緒
「声を上げること」

自身の経験をもとに発表してくれた奥ノ薗さんに最優秀賞の感想を聞いてみました。

Q最優秀賞の感想を聞かせてください。

「ただ自分の気持ちを知ってほしいと思って書いた文章だったので、最優秀賞に選ばれるなんて思いもしなかったので驚いています。自分の思いを受け入れて下さりうれしいです。」

Q食べ物を受け付けないという自身の経験を話題にするのは抵抗がありませんでしたか。

「こういうことで悩む人もいるんだということを知ってほしいという思いと、周りの人の支えで克服できたので感謝の気持ちを伝えたいという思いから発表しました。私のようなことに悩む人が出ても克服することができるんだと思ってくれれば有難いです。」

以上のように、感想を語ってくれました。